

第6回日本気象学会ジュニアセッション開催報告

教育と普及委員会

1. はじめに

第6回日本気象学会ジュニアセッション（以下、「ジュニアセッション2020」）を、2020年5月23日（土）～31日（日）にWEB開催方式で行った。新型コロナウイルス感染症の感染拡大により参加者の安全の確保が難しいと判断し、現地での会場開催は行わず、WEB開催した。ジュニア世代に発表の場を提供する、という社会貢献を目的とし、大気や気象に対する若い人たちの興味や探究心が高まることで、より豊かな社会の招来に繋がることを期待している。

今回は青森県より鹿児島県までの22校から26件の発表があり、生徒は91名、教諭22名がWEB開催に参加した。一般会員を含む参加者たちはジュニアセッションのWEB開催URLにアクセスし、コメントと質疑を書き込んだ。コメントの総件数は413件、うち349件は一般会員49名から、64件は教諭と生徒からだった。ポスター発表の内容は、雲の観察や気温の長期変動といった身近な気象に関するテーマだけでなく、流体実験や自作観測装置、惑星大気など幅広いテーマに跨がっていた。いずれもよくまとめられていて、高校生らしい発表であった。

2. WEB開催の方法

予稿原稿は発表申込時に必須とした。これまでは、予稿に加えてポスターを作成して発表してもらっていたが、今回は、コロナ禍の折に多人数で集まることを避けてもらうため、ポスターの作成は任意とした。また、会場での発表の代わりとして動画の掲載を希望する場合には受け付けることにした。予稿原稿26件に対し、ポスターは9件、発表動画は4件だった。これらは、学会ホームページ教育と普及委員会のWEBサイトに特設ページを作成して公開した（第1図）。

各参加校および気象学会会員に、特設ページへのアクセス方法をメールで連絡した。掲載された各発表の閲覧期間は5月23日（土）～31日（日）とし、コメントをWEBで入力してもらった。特設ページにはパスワードを設定しなかったが、コメントの入力時に、参加校には学校名を、学会員には会員番号を入力してもらうことで、関係者のみからコメントを集めることが

できたと考えている。コメントに対する返信や情報交換をしてもよい場合には、メール等の連絡先をコメント入力時に記入してもらった。

開催期間中には夜間を含めて沢山のアクセスがあった。発表内容はもちろんのこと、今回のWEB開催に関するコメントもあった。WEBで入力された発表内容に関するコメントと質疑は、閲覧期間終了後、発表ごとにまとめて、発表者（学校）にメールで送信し、それをもって発表認定とした。各参加校には発表認定証と予稿集を郵送した。

初めての試みとなったWEB開催でのコメントの一部を紹介すると、発表については「コロナの影響で発表の数は少ないが、発表動画はどれも短時間に内容をまとめていて良かった」「工夫された実験を行ってとても面白かった」など、WEB開催については「本年はコロナの影響で学会がない中、工夫して開催して素晴らしい」「中高生は資金面の問題でなかなか学会会場まで来られないということもあるので、来年度以降も対面・オンラインを選択できるようにすると良いかもしれない」という提案もあった。コメントを受け取った参加校からは「動画の再生回数も非常に多く



PJ20-01

回転水槽実験における流体内部の可視化

中里天音、齋藤麻衣、矢崎千尋、綿貫克幸（新潟県立高田高等学校）

予稿はこちら
ポスターはこちら
発表動画はこちら(要パスワード)



PJ20-02

天気予測における天体観望と水蒸気の関係について

高森碧（長野県諏訪清陵高等学校）

予稿はこちら
ポスターはこちら



PJ20-03

乾燥を加湿器無しで乗り切ることは可能か

菅沼伊織（静岡学園中学校）

予稿はこちら
発表動画はこちら

第1図 ジュニアセッション2020 WEB開催用特設ページの様子。

驚いた「学会員からのコメントも予想よりもはるかに多く、WEB だったから時間の制約がなくよりみてもらったでは」との感想があった。

ジュニアセッションでは毎回、アンケートを実施してきたが、今回は WEB 開催終了後、各学校にアンケートの WEB ページとアクセス方法をメールで送信し、記入を依頼した。寄せられた回答の総件数40件で、うち指導者からは12件（先生12件）、生徒からは28件（発表者23件、協力者5件）だった。アンケートには今回の WEB 開催に関する設問もあった。その結果は次の通りである（第2図）。

設問 (1) 今回、気象学会の現地開催が中止になった

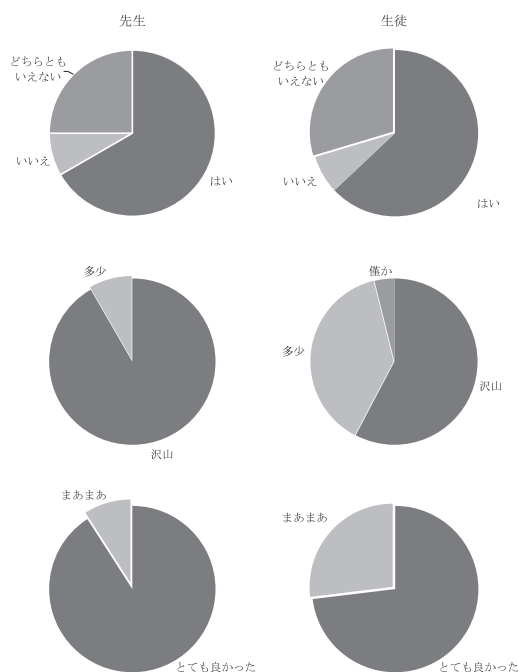
ため、ジュニアセッションは WEB 上での開催と致しました。WEB 開催にして良かったですか

設問 (2) コメント（閲覧者による説明・ヒント・指導など）はありましたか

設問 (3) コメントは参考になりましたか

開催にあたっては、文部科学省と公益社団法人全国高等学校文化連盟から後援をいただいた。学習指導要領の改訂により「総合的な探究の時間」が必修となったこともあり、ジュニアセッションのような発表の場への参加が、今後ますます促進されと考えられる。ジュニアセッションを楽しみにしている一般会員も多く、今後も継続的に開催して、ジュニア世代に気象学の裾野を広げて行きたい。これまでの開催状況は気象学会ホームページに掲載している。

(https://www.metsoc.jp/about/educational_activities/junior_session)



第2図 今回の WEB 開催に関するアンケートの設問の回答。上から設問 (1), (2) 及び (3), 左側は先生, 右側は生徒の回答を示している。